

「伝わりやすい発表について考える」へのコメントと運営が提示した修正案

- p.1: タイトル
(元のスライド)



(皆さんのコメント)

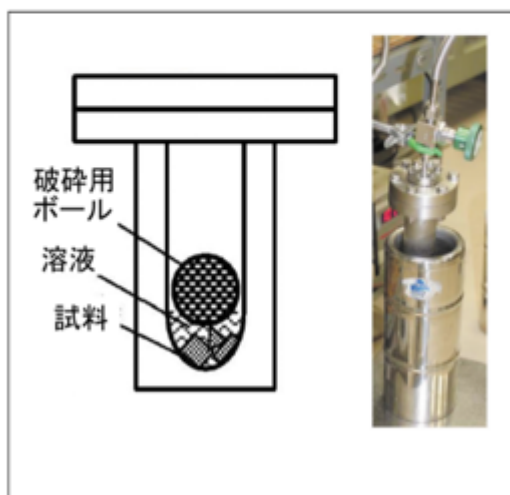
- ・タイトルが単語の途中で改行されていて読みづらい:
「硫黄のフラックス」をひとまとめにするように改行すべき
- ・背景の写真と被ってタイトルの文字が読みづらい
- ・タイトルに「の」が多い
- ・「見積もり」を「推定」などとした方が良い
- ・背景の写真と研究内容に関連が欲しい
- ・発表情報を追加すべき: 学会名、日付、他に著者が居れば全員の名前を書く
- ・「発表者」はいらないのではないか
- ・発表者情報を真ん中に配置するとバランスが良くなる

(その他、運営委員の設定した「間違い」)

- ・座長が発表タイトルを言った後に、自分でもタイトルを言ってしまう

(ショートコースで運営が提示した修正案を、さらに修正したスライド)

固体地球内部からの 硫黄のフラックスの見積もり

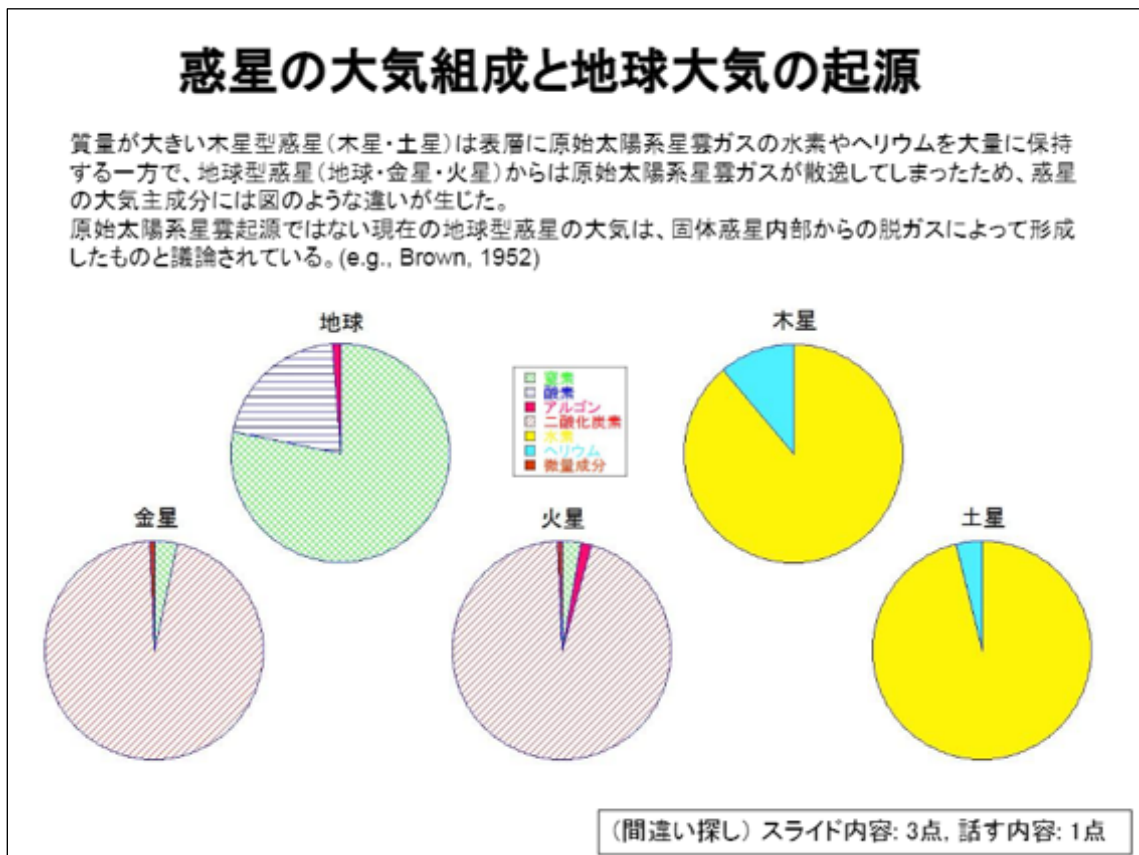


発表者: 地化 太郎(地惑大学)

(間違い探し) スライド内容: 3点, 話す内容: 1点

・画像のアスペクト比がおかしくて見づらいとのコメントを頂きましたので、該当箇所のみショートコース当日に提示したスライドから修正しました

- p. 2: 惑星の大気組成と地球大気の起源
(元のスライド)



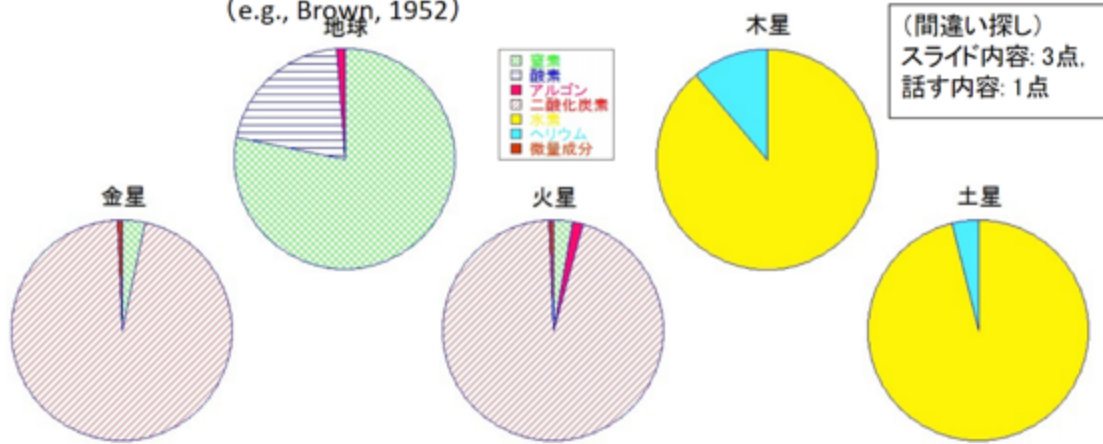
(皆さんのコメント)

- ・文章が長く、読みづらい
- ・スライドの文章をそのまま読みあげている
- ・アニメーションのタイミングや出方が良くないので、かえって理解を妨げる
- ・地球型惑星と木星型惑星の円グラフはグループ分けした方が良い。あるいは、どこでグループが分かれるか口頭で話す、間に点線を入れるなどする。
- ・グラフの色と成分の対応が理解しづらい
- ・グループ分けの鍵となる成分 (CO₂ や H₂, He など) は凡例だけでなく、グラフに直接記入した方がわかりやすい
- ・グラフや凡例の色合いなど視認性が悪い：たとえば水素の文字が黄色で見づらい
- ・図は、話す順に左から配置した方が良い

(ショートコースで運営が提示した修正案)

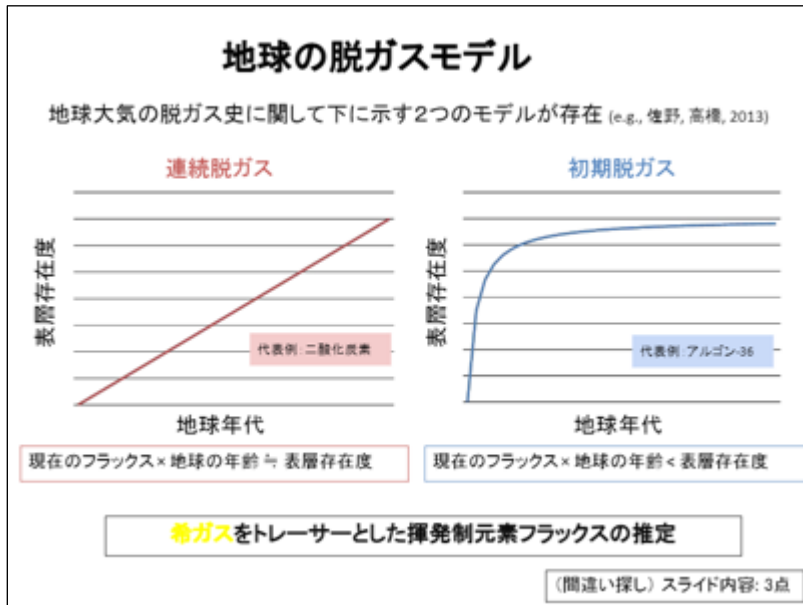
惑星の大気組成と地球大気の起源

- 惑星の大気主成分は大きく異なる
 - 木星型惑星
 - 質量が大きい
 - 表層に水素やヘリウム (原始太陽系星雲ガス)
 - 地球型惑星 (地球・金星・火星)
 - 原始太陽系星雲ガスは散逸
 - 地球型惑星の大気は、固体惑星内部からの脱ガス (e.g., Brown, 1952)



- 図は元のままだが、修正して見やすくする方が良い

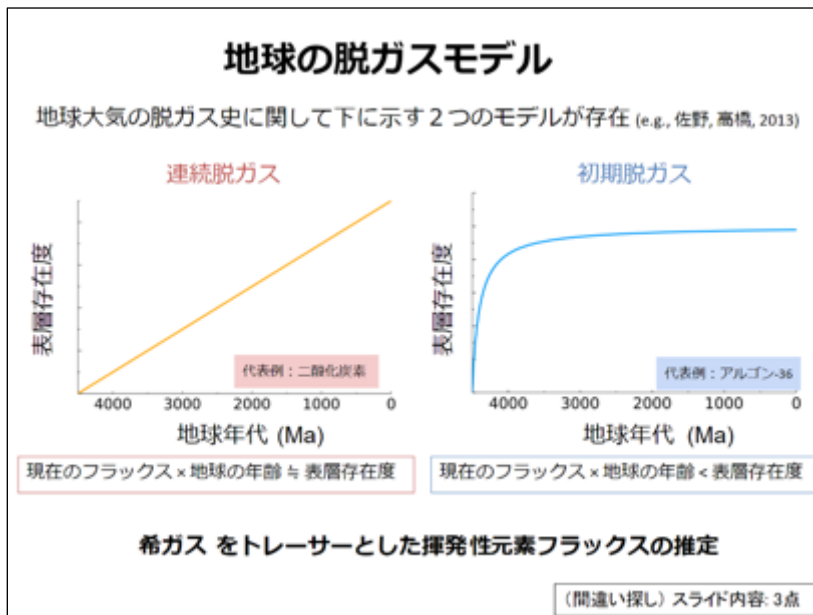
■ p. 3: 地球の脱ガスモデル
(元のスライド)



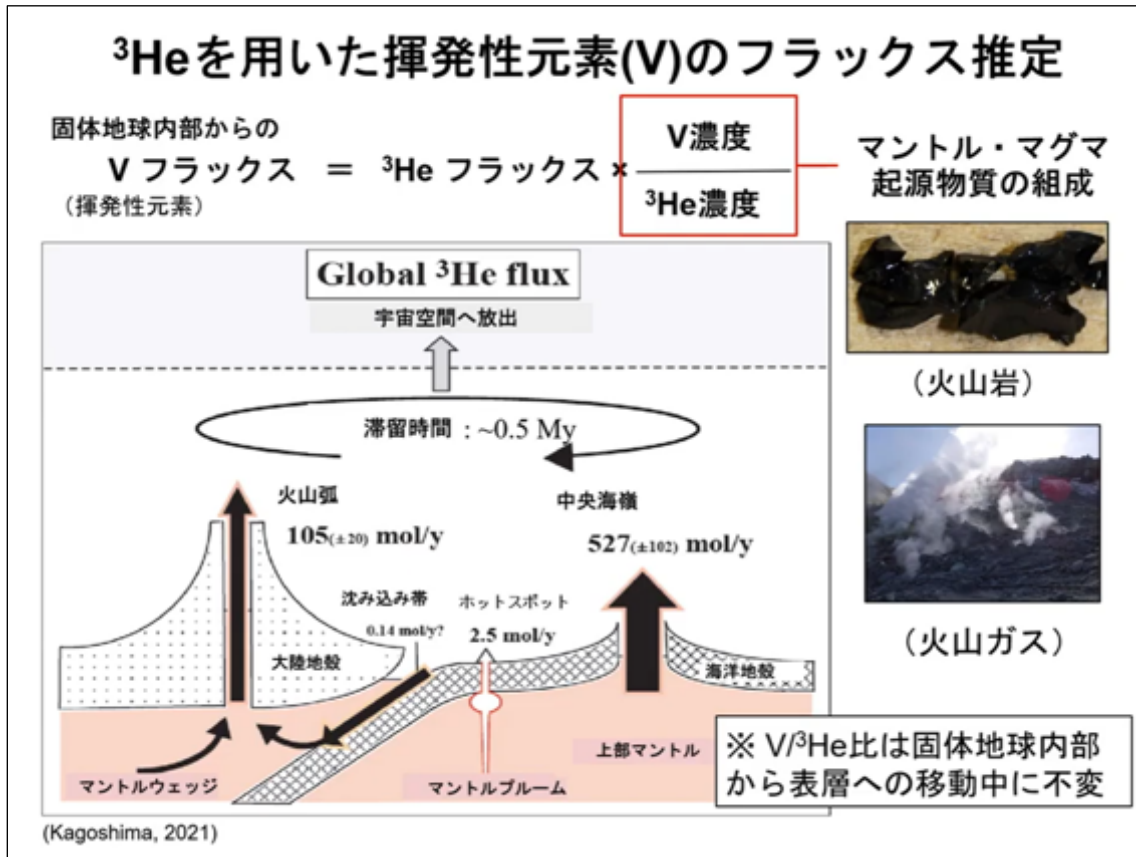
(皆さんのコメント)

- ・ 図の軸に単位やスケールといった情報を追加すべき
- ・ 2つの式の違いが一見して理解しづらいため、違いを強調すべき
- ・ 白地に黄色い文字は読みづらい (「希ガス」の文字)
- ・ 誤字がある (「揮発性」が「揮発制」になっている)

(ショートコースで運営が提示した修正案)



- p. 4: ^3He を用いた揮発性元素 (V) のフラックス推定 (元のスライド)



- (皆さんのコメント)
- V=volatile element (揮発性元素) と対応していることを説明すべき (p. 5 も同様)
 - 式中の赤い枠と×が被っており見づらい
 - 試料の写真に、大きさがわかるようにスケールを追加すべき
 - 写真の「火山ガス」がどれかが分かりづらい
 - ヘリウムの宇宙空間への放出に関する口頭での説明が無く、よくイメージできなかった
 - 「ホットスポット」は口頭で説明するほど重要なのに字は小さく、一貫性が無いように見える
 - \pm error は本当に必要な情報なのか疑問

- p. 5: 本研究の目的
(元のスライド)

本研究の目的

地球の大気形成史を理解するため、揮発性元素の脱ガス史を解明したい

→ 揮発性元素の固体地球内部から地球表層へのフラックスの推定

→ 固体地球内部の揮発性元素・ヘリウム組成(V/³He比)の制約

固体地球内部の組成を調べるため、マントル・マグマ成分を持つ試料を測定

- 中央海嶺玄武岩 (MORB)
- 火山ガス

$$V \text{ フラックス} = {}^3\text{He} \text{ フラックス} \times \frac{V \text{ 濃度}}{{}^3\text{He} \text{ 濃度}}$$

→ 揮発性元素(硫黄)のフラックスを推定

(間違い探し) スライド内容: 2点

(皆さんのコメント)

- ・ 下線が多すぎて、どこが重要なのか分からない
- ・ 文字が多く、どこに注目すべきか分からない
- ・ 黒字だけでなく赤字などを使って強調した方が良い
- ・ 目的のスライドであるにも関わらず、再度手法の式が登場して話がぼやけている
- ・ Vはvolatileの略ではなく、バナジウムのように見える
- ・ 式に単位が無い
- ・ 「硫黄」の話が最後に急に出てきて理解できないので、前の段階で説明すべき
- ・ 「フラックスの推定」が2回出てきて違和感がある

(ショートコースで運営が提示した修正案)

本研究の目的

地球の大気形成史を理解するため、揮発性元素の脱ガス史を解明したい

→ 揮発性元素の固体地球内部から地球表層へのフラックスの推定

→ 固体地球内部の揮発性元素・ヘリウム組成 (V/³He比) の制約

固体地球内部の組成を調べるため、マントル・マグマ成分を持つ試料を測定

- 中央海嶺玄武岩 (MORB)
- 火山ガス

$$V \text{ フラックス} = {}^3\text{He フラックス} \times \frac{V \text{ 濃度}}{{}^3\text{He 濃度}}$$

→ 揮発性元素 (硫黄) のフラックスを推定

(間違い探し) スライド内容: 2点

- Vに関する説明をどこかですべき
- この前の段階で、硫黄に関する説明をするためのスライドを追加するなどした方が良い

■ 全体を通してのコメント

- 注目して欲しい箇所が強調されるように工夫すべき
- 文献を引用する際は雑誌名の情報が欲しい